

未来は変わる。

僕らが変える。



変わらないものなんてない。

建設の仕事は変化している。

i-Construction が、
この世界にイノベーションをもたらしている。

ドローンやレーザースキャナーを使った測量、
3D データによる設計
そして GPS による施工。

ICT を駆使した建設は、
私たちの生活を
よりよく変えるチカラになる。

この流れに今、飛びこもう。



ベテランの職人さんにも頼られています。



株式会社 大竹組
西田 昂平さん
入社4年目

子どもの頃、建設現場で働く大人を見て、カッコいいなと憧れました。その気持ちが忘れられず、建設業界に飛び込んだのがきっかけです。

会社ではアイ・コンストラクションというICT機器を使った新しい方法に取り組んでいます。たとえば、現場で最初に行う測量は、とても手間がかかり、経験による勘が必要な作業ですが、ICT機器を使って、当時は未経験者だった私でも、ほとんど一人で作業ができました。これは私の自信となりましたし、また技術革新を強く感じた出来事でもあります。おかげで、ベテランのオペレーターや職人さんにも頼られるようになり、仕事のやりがいにもつながっています。

現在は、現場監督という立場で、仕事の半分はパソコン作業です。書類作成のほか、工事面の3Dデータも作成しています。3D化すると、事前に現場の課題をシミュレーションできるため、安全に工事を進めつつ、工期を短縮することができます。労働時間の短縮にもつながり、仕事帰りは趣味のジム通いなどで充実しています。

また数年前には、愛媛県大洲市の災害復旧にも行きました。到着直後の町の惨状に絶句しましたが、私たちの手による復旧作業が進み、住民の方々が次第に安堵されてくる様子を見たとき、建設の仕事のすこさを実感することができました。

近年、防災が注目されていますが、町を守るってことはこういうことなんだと。だから私は、住民の生活を守る建設の仕事に誇りを持っています。もっと技術を磨き、今よりもさらに多くの人たちの生活の支えとなるよう、立派な現場監督になりたいですね。



仕事の半分はパソコンでの作業。こんなに社内での作業が多いとは思わなかったと言います。

i-Constructionで変わる!

～3D化・ICTで変わる働き方～

娘にも自慢できるいい仕事です。



有限会社 高木建設
森脇 慎也さん
入社2年目

現場では監督業務を行う。工事が計画通りに進んでいるか、その確認作業でもICT機器が役立つ。

行う測量などは、私のような未経験者でもそつなくこなせ、極端に体力を消耗することもありません。

ICTの導入は、建設業界では今がその過渡期だと思います。私ほもとパソコンが得意だったこともあって、戸惑うことはありませんでした。土木だけではなく、情報系の方もじゅうぶん活躍できるような環境になってきているなど実感しています。

会社がアイ・コンストラクションに取り組んでいるおかげで、残業はほとんどありません。以前は叶わなかった帰宅後に娘と遊ぶ時間も作れ、ワークライフバランスが充実しています。

仕事は、ICT機器を使った測量からはじまり、そのデータでモデリングし、シミュレーションをします。そして、それが現実のカタチとして完成するまで現場監督として立ち会います。最初パソコンで作ったものが、現実世界にどンドン再現されていくのはたいへん面白いものです。また、こうして創ったものが、地域の方々の安全安心を守るものであるということも、娘に胸を張って自慢できることです。

おそらく、皆さんが建設業界に対して持っているイメージと、アイ・コンストラクションによる建設の仕事は全く違います。いい意味で期待を裏切られますよ。



現場では監督業務を行う。工事が計画通りに進んでいるか、その確認作業でもICT機器が役立つ。

以前は、まったく別の業界で働いていました。結婚して娘が生まれたことで、転職して建設業に飛び込みました。

実際に仕事をしてみて驚いたのは、肉体的労働ではぜんぜんないってことです。現場監督という管理の仕事をしているせいもありますが、仕事の半分はパソコンを使って3Dデータを作成する作業です。現場でレーザーキャナーという機器を使って

i-Constructionとは
ICTの導入等により
生産性向上を図り、
働きやすい建設現場
とする取組

ドローンの測量は
迅速! 正確!

GPS制御の建設機械で
効率UP!



(2020年3月発行)